

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 5 月 26 日現在

機関番号：24402

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2011～2015

課題番号：23330129

研究課題名(和文) 日米欧亜市場における合弁行動の国際比較研究

研究課題名(英文) International comparative study of joint venture behavior in Japan/US/EU.

研究代表者

石井 真一 (ISHII, SHINICHI)

大阪市立大学・大学院経営学研究科・教授

研究者番号：70315969

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,800,000円

研究成果の概要(和文)：日米欧亜市場の合弁データベースの構築と、多国籍企業の国際合弁行動にかんする仮説の検討、国際ビジネスにかんするデータ収集をおこなった。まず、これまでに収集してきた1987-2005年の日米欧市場の国際合弁データに、最新の国際合弁データを加え、データベースの構築を進めた。あわせて、本研究で新たに検討する日本企業とアジア企業(東アジア、東南アジア等)の国際合弁の分析についても検討を進めた。また、国際合弁だけでなく完全子会社等の幅広い出資形態を含め、生産や販売、開発等の幅広い事業機能を含む国際ビジネスの動向の分析についても検討・実施した。

これらの研究成果の一部は学会や書籍・論文等で発表した。

研究成果の概要(英文)：We have constructed joint venture databases in Japan/Europe/US, developed operational hypotheses related to international joint venture partnership of MNEs and collected data of international business. For the database construction, we added latest international joint ventures in addition to our data collected in previous studies. In addition, we studied analysis for international joint ventures between Japanese and European firms which is newly developed in this study. We also studied analysis for broad investment forms (such as wholly owned subsidiaries) and multiple business functions (such as sales, production and R&D) of international business. Part of our research results have already been presented at academic conferences, books and journals.

研究分野：経営学

キーワード：経営学 国際合弁 海外直接投資

1. 研究開始当初の背景

知識を組織的に活用する能力を指すコア・コンピタンスは、企業の長期競争優位性を説明する概念として、学術・実務分野で広く知られている。この企業観にもとづいて、現代企業における国際合併の第一目的はパートナーから知識を学習することであり、合併パートナーは相互に相手から学習する上で競争関係にあるという、学習競争的な見方が欧米の研究者によって指摘されてきた。とくに、国際合併における欧米パートナーからの学習が日本企業の能力構築の有力な経路の一つとなった、と主張した。同時に、日本企業の合併行動の特徴として、すぐれた学習能力のもとで自社の学習のみを優先し、この目的を達成した後は合併から即時退出するという見方も強調されてきた。

ただし、このような合併の継続・解消にかかわる企業行動の見方に関する妥当性については、十分に検証されていない。とくに、THHの合併継続・解消行動にかんする議論は再検討の余地があることを、J.F.Hennart(本研究協力者)らが Strategic management journal 誌の論文で実証した。日本企業の合併行動にかんする THH を検証したのは日本人ではなく、海外の研究者であった。この研究に続いて同氏と石井(本研究代表者)が共同でこれまで実施してきたのが、日米欧市場の国際合併研究(若手研究B、H17-19 および H20-22)である。

2. 研究の目的

本研究は、上記のこれまでの国際合併研究を以下の点で発展させるものである。

第一に、従来の日米欧を対象とした分析から、これにアジアの市場・企業を加えた国際比較分析へと発展させることである。アジアを分析対象に加える理由は、これまでの研究発表等で得た THH はとくに中国・韓国企業にあてはまるという指摘があり、またそのような事例の存在も確認されるためである。また、多国籍企業にとってアジアビジネスやアジアの合併パートナーの重要性の高まりもある。

第二に、分析期間の拡大である。本研究で新たに分析する近年の世界経済動向では、BRICS 等の新興国における急速な経済発展や、経済連携協定等による特定地域内・二国間の貿易の拡大もみられた。また、わが国では長期的な景気低迷の中で、持株会社・三角合併の解禁や外資誘致策も進められている。これらの新たな経済状況下における企業の国際合併行動の特徴を明らかにする。

第三に、合併における役員編成という、本研究で焦点を当てる親会社の合併出資

行動と深くかかわる変数を分析対象に含むことである。この合併組織にかんする新たな分析視点を加えることで、戦略と組織の双方の観点を含む、理論的・実践的・政策的な示唆を得ることが期待できる。

第四に、分析データを国際合併から完全子会社も含めた複数の投資形態にまで拡大し、投資形態別の出資戦略を分析する。これにより、企業の海外投資戦略や外資系企業による対内投資戦略といった国際投資戦略の文脈における、企業の国際合併行動の特性を明らかにできる。

3. 研究の方法

本研究では、企業の合併パートナーシップ行動(合併の継続・解消)について、国際比較分析をおこなった。まず、東洋経済新報社の『海外進出企業総覧』と『外資系企業総覧』をもとに、1987~2014年の日米欧亜市場の国際合併における親会社の出資行動にかんする企業属性間・市場間・合併組織属性間で比較した。データの収集・分析と並行して、操作仮説の提示および理論構築を目的とした事例分析やパイロットスタディも実施した。

4. 研究成果

日米欧亜市場の合併データベースの構築と、多国籍企業の国際合併行動にかんする仮説の検討、国際ビジネスにかんするデータ収集をおこなった。

まず、これまでに収集してきた1987-2005年の日米欧市場の国際合併データに、最新の国際合併データを加え、データベースの構築を進めた。あわせて、本研究で新たに検討する日本企業とアジア企業(東アジア、東南アジア等)の国際合併の分析についても検討を進めた。また、国際合併だけでなく完全子会社等の幅広い出資形態を含め、生産や販売、開発等の幅広い事業機能を含む国際ビジネスの動向の分析についても検討・実施した。

これらの研究成果の一部は書籍『国際協働のマネジメント』(千倉書房)や研究ノート「トヨタ自動車における輸出と海外生産の展開」『経営研究』等ですでに発表した。また、本研究の代表者・分担者とあわせて、従来から研究補助者としてかかわっている大学院生についても、一部の研究については教育効果を得ることも視野に入れて研究に参画することを検討・実施した。その成果の一部は、2014年度に日本経営学会が招聘し、明治大学で開催された国際的な経営学会の連合体 International Federation of Scholarly Association of Management の

研究大会にて英語による研究発表（４つの発表）をおこなった。その内訳は、１つは研究代表者と研究分担者の共同発表、３つは研究代表者と研究補助者（大学院生）の共同発表であった。これらの発表内容の一部はフルペーパーの論文（英語）として、同研究大会の査読を経て、Proceedingsにも所収された。さらに、これらの研究発表をベースに、データ収集・分析および理論的検討をおこない、その内容を論文等で公表する準備もおこなった。

５．主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計 9件)

- 石井真一「グローバル化と国際提携」、『経営学論集』第 81 集、48-59 頁、2011 年 9 月、査読無。
- Shinichi Ishii and J.-F. Hennart, "Haven't they read Johansen and Valne? Why Toyota set up the Kolin joint venture with PSA after successful string of wholly-owned affiliates?", Conference proceedings of 37th Annual Conference of European International Business Academy (CD-ROM), ID-141, Dec 2011、査読無。
- 石井真一「日本自動車企業の国際事業展開にかんする経時的分析 1960 年代から 2000 年代における輸出と海外生産を中心に」、『経営研究』、第 63 巻第 2 号、175-191 頁、2012 年 8 月、査読無。
- 吉村泰志「経営者交代研究の方法と対象の転換 批判的実在論からのアプローチ」、『帝塚山経済・経営論集』第 23 巻、2013 年 3 月、25 ~ 44 頁、査読無。
- 石井真一「トヨタ自動車における輸出と海外生産の展開」、『経営研究』、第 64 巻第 1 号、91-107 頁、2013 年 5 月、査読無。
- Tingting Jiang, Yichun Zhao, and Shinichi Ishii, "International business expansion of Japanese automobile component suppliers: Entry mode analysis," Proceedings of the 12th world congress of IFSAM (International Federation of Scholarly Associations of Management) (CD-ROM), Meiji University, Tokyo、2014 年 9 月、査読有。
- 吉村泰志「経営者交代研究の方法と対象の転換 批判的実在論からのアプローチ」、『帝塚山経済・経営論集』第 25 巻、31 ~ 70 頁、2015 年 3 月、査読無。
- 石井真一「米国におけるトヨタの製品開発の事例分析」、『日本経営学会第 89 回大会要旨集』、209-212 頁、2015 年 9 月、

査読無。

- 吉村泰志「日欧合弁企業における所有構造と経営者交代」『Discussion paper series, Faculty of Business Administration Tezukayama University』、J-010、1-16 頁、2016 年 3 月、査読無。

〔学会発表〕(計 9件)

"Why did Toyota stay in NUMMI for so long?", 2011 Annual Meeting of the Academy of International Business, 愛知労働産業センター、2011年6月27日、愛知県名古屋市。

"Haven't they read Johansen and Valne? Why Toyota set up the Kolin joint venture with PSA after successful string of wholly-owned affiliates?," 37th Annual Conference of European International Business Academy, The Bucharest Academy of Economic Studies, Bucharest, Rumania, 2011年12月10日、ルーマニア。

「すり合わせ型製品開発の国際展開」六甲ビジネスシステム・コンファレンス 2012・発表セッション、甲南大学、2012年8月26日、兵庫県神戸市。

「日本企業の国際ビジネス展開と合弁行動」台中科技大学大学院日台ビジネス研究ワークショップ、台中科技大学大学院、2013年3月12日、台湾。

"Japanese investment and dispatches of international joint ventures in China", IFSAM 2014 World congress in Tokyo: Paper presentation program (T5.1: International management), 明治大学駿河台キャンパス、2014年9月2日、東京都杉並区。

"International business expansion of Japanese automobile component suppliers: Entry mode analysis", IFSAM 2014 World congress in Tokyo: Paper presentation program (T5.3: International management), 明治大学駿河台キャンパス、2014年9月3日、東京都杉並区。

"Japanese ownership in international joint ventures in Thailand", IFSAM 2014 World congress in Tokyo: Paper presentation program (T5.3: International management), 明治大学駿河台キャンパス、2014年9月3日、東京都杉並区。

"Governance and top management in Japanese-European joint ventures", IFSAM 2014 World congress in Tokyo: Paper presentation program (T5.6: International management), 明治大学駿河台キャンパス、2014年9月4日、東京都杉並区。

“Global linking beyond lean: How did Toyota establish its offshore network?”, DREAMT seminar, University of Pavia, 2016年1月28日、イタリア。

〔図書〕(計 1件)

石井真一(2013)『国際協働のマネジメント』千倉書房、1-246頁。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

石井 真一 (SHINICHI ISHII)
大阪市立大学・大学院経営学研究科・教授
研究者番号：70315969

(2) 研究分担者

吉村 泰志 (TAIJI YOSHIMURA)
帝塚山大学・経営学部・准教授
研究者番号：00352542

(3) 連携研究者

加護野 忠男 (TADAO KAGONO)
甲南大学・特別客員教授
研究者番号：80030724